

SC-5. セントピートへの対応

横浜シャフルボード協会

“Responses to a St. Pete” by Lary Faris

抄訳：薩川俊三

セントピートへの対応は、8つ考えられる。

(1) クリアする

最も普通の対応。同点かリードしている時に行う。

(2) セントピートをクリアし、シュートディスクを自分のタンパかセントピート位置にスライドさせる

相手に好都合なガードを残すことがある危険なショットで、殆どのプレイヤーがトーナメントでは行わない。

(3) セントピートをキッチンに入れる

最も馬鹿げたショット。成功してもキッチンディスクがむき出しで、容易に取り除かれるし、セントピートを7得点させる危険がある。

(4) 隠すルートをふさぐ（フィリングイン）

セントピートのそばに自分のタンパを置く。これはゲームを活気づけるが、裏目に出ることがある。

(5) 自分のセントピートを置く

両者が自分のセントピートの背後に隠すプレーを行う。トーナメントプレイヤーは滅多に行わない。対戦相手が自分のセントピートの背後に隠すことが出来ない程大きなドリフトがある時には、私は時々行う。

(6) スーサイド・アレー・ショット

コートの外側寄りを通して、セントピートの背後のコーナー7に得点するショット。しばしばキッチンに入る危険なショットで、「自殺の裏通りショット」と呼ばれる。

(7) 得点する

リードされている時の標準の対応。キッチンベイトを置いて、対戦相手のディスクをキッチンに入れようとする戦略。

(8) コートの外へシュートする（流す）

ゲームの最終段階で、リードしていて、キッチンに絶対入れられたくない場合。この時、コートのガター際にシュートする方が、スポーツマンらしい。

